

科 目 名		学年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
日本史 Japanese history		3MESC	2	90分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		岩元 修一 IWAMOTO Shuichi					
授 業 概 要	<p>学校で学ぶ体系的な日本史の授業は最後となることから、限られた時間の中で、出来る限り新しい時代の学習と日本史全体の通時的な把握を、周辺の国・地域との関わりの中で行えるように配慮した。あわせて技術の歴史にも目配りを忘れないように展開を工夫した。日本史の中の地域の違いや周辺諸国との関わりに留意することで、「さまざまな文化や歴史に触れ」、「他者や他国の立場を視野に入れ」て幅広い見地から物事を判断できるように授業内容を構成した。</p>						
到達目標				評価方法			
<p>①日本史の通時的展開を各地域、各国との関わりの中で説明できる。②日本史の共時的展開を各地域、各国とのいわば横の関わりの中で説明できる。③各地域、各国、各時代に生きた異なる人々の立場や文化・歴史を説明できる。</p>				<p>①試験60%、②口頭試問20%、③小テスト・レポート課題20%とする。なお、単なる欠席の場合、提出物の成績は、通常の試験と同じ扱いとするので注意すること。</p>			
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(1)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	導入(1)	シラバスについての説明および現代の社会の概要(1)を説明する。	第16	20世紀半ばの日本(1)	占領期の日本について説明する。	
	第2	19世紀の日本(1)	江戸時代と明治時代初めを比較しながら変化を中心に説明する。	第17	20世紀半ばの日本(2)	占領政策の転換と独立を中心に説明する。	
	第3	19世紀の日本(2)	日朝関係を中心に説明する。	第18	20世紀後半の日本(1)	安保改定を中心に説明する。	
	第4	19世紀の日本(3)	日清戦争を中心に説明する。	第19	20世紀後半の日本(2)	経済成長と冷戦の終わりを中心に説明する。	
	第5	20世紀前半の日本(1)	日露戦争を中心に説明する。	第20	20世紀後半から21世紀の日本	冷戦後の世界と日本を中心に説明する。	
	第6	20世紀前半の日本(2)	第一次世界大戦を中心に説明する。	第21	旧石器時代	地球環境の問題と1万年以前の列島との関わりを中心に説明する。	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	
	第8	20世紀前半の日本(3)	①試験の解答、②大正時代の日本を中心に説明する。	第23	縄文時代	①試験の解答、②地球環境の変化と縄文時代成立との関わりを中心に説明する。	
	第9	20世紀前半の日本(4)	第一次世界大戦後の世界を中心に説明する。	第24	弥生時代	地球環境の変化と弥生時代成立と展開の関わりを中心に説明する。	
	第10	20世紀前半の日本(5)	経済恐慌の話を中心に説明する。	第25	古墳時代	墓の種類や作り方、役割を中心に説明する。	
	第11	20世紀前半の日本(6)	1920年代の日中関係を中心に説明する。	第26	奈良時代	国の仕組みの変化を中心に説明する。	
	第12	20世紀前半の日本(7)	1930年代の日中関係を中心に説明する。	第27	平安時代	神と仏の関係の変化を中心に説明する。	
	第13	20世紀前半の日本(8)	1940年代前半の日米関係を中心に説明する。	第28	戦国時代から江戸時代(1)	戦国から江戸にかけて変化した国のあり方を中心に説明する。	
	第14	20世紀前半の日本(9)	太平洋戦争を中心に説明する。	第29	戦国時代から江戸時代(2)	戦国から江戸にかけて変化した宗教のあり方を中心に説明する。	
第15	まとめ	①解答、②レポート課題および現代の社会の概要(2)を説明する。	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめをする		
自学自習の内容		小テストのための予習やレポートを課す。					
関連科目	現代社会、世界史、倫理						
教科書	『日本史』(東京書籍)						
参考書	『詳説日本史』(山川出版社)						
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考	テキスト・プロムナードは毎回必ず持参すること(不携帯は減点の対象になります)。欠席状況は各自で確認すること。						